

JISS徹底解剖

～第3回～

今回は、国立スポーツ科学センター（JISS）1階にある陸上競技実験場とスポーツクリニック、2階にある体力科学実験室、フェンシング練習場を紹介します。

■1階

〔陸上競技実験場〕

全天候型の陸上競技実験場であり、投擲種目（ハンマー、円盤、槍、砲丸）のフォーム測定や、100m走路（3レーン）、走り幅跳び、三段跳び、棒高跳び、走り高跳びの練習及び測定を行うことができます。走り幅跳び・三段跳びの踏み切り位置、ハンマー投げサークルには埋設型床反力計（フォースプレート）が設置されており、踏み切り技術の向上や動作解析に役立てています。男子100m走の前世界記録保持者である、アサファ・パウエル選手が来日した際に、100m走路を実際に走り、場内に設置してある3次元動作解析システムを用いて、データの取得・解析を行

いました。

〔スポーツクリニック〕

JOCの強化指定選手と、各競技団体の強化対象選手といったトップレベルの競技者を対象として診療を行っています。

内科、整形外科、歯科、皮膚科、眼科、耳鼻科、婦人科及びアスレティックリハビリテーションを定期的に開設しており、練習場と併設されているため、練習中に受傷したアスリートに対しても、迅速に治療を行うことができ、早期復帰のサポート役を担っています。

■2階

〔フェンシング練習場〕

正式な規格のフェンシング競技用ピストが8面、練習用ピストが3面、計11面のピストが設置されています。正式な規格のピストでは8面全面で審判器を用い、突き動作の有効・無効の情報を表示することができません。壁面に設置されたカメラで撮影することにより競技中の動作をとらえ、さらにその映像は、カメラ接続盤からリアル

タイムでモニターでき、競技者に即座にフィードバックしてトレーニングに活用できるように工夫されています。

〔体力科学実験室〕

競技者の基本的フィットネスを評価するための各種測定装置が配備されています。ランニング中の生理学的反応を検出できると同時に、ピッチとストライドの自動計測が可能な中型のトレッドミルや、自転車、スケートある

いはスキー競技等にも応用することができる3m×4mのベルト幅で時速60kmまでベルト走行が可能な大型トレッドミルもあります。

この他にローイングや腕動作によるクランキング、高速自転車エルゴメーターなど各種スポーツ動作に対応できる多関節型パワー測定装置が配備されており、多面的に競技者のフィットネスを評価することをねらいとした設備となっております。



陸上実験場



フェンシング練習場